

2023年9月3日

礼 拜

聖書

創世記42章1～25節

42:1 ヤコブはエジプトに穀物があることを知って、息子たちに言った。「おまえたちは、なぜ互いに顔を見合わせているのか。」

42:2 さらに言った。「今、私はエジプトに穀物があると聞いた。おまえたちは下って行って、そこから私たちのために穀物を買って来なさい。そうすれば、私たちは生き延び、死なずにすむだろう。」

42:3 そこで、ヨセフの十人の兄弟は、穀物を買うためにエジプトに下って行った。42:4 しかし、ヤコブはヨセフの弟ベニヤミンを兄弟たちと一緒に送らなかった。わざわざ彼に降りかかるといけなと思ったからである。42:5 こうしてイスラエルの息子たちは、人々に混じって、穀物を買いにやって来た。カナンの地に飢饉が起こったからである。

42:6 ときに、ヨセフはこの地の権力者であり、この地のすべての人に穀物を売る者であった。ヨセフの兄弟たちはやって来て、顔を地に付けて彼を伏し拝んだ。42:7 ヨセフは兄弟たちを見て、それと分かったが、彼らに対して見知らぬ者のようにふるまい、荒々しいことばで彼らに言った。「おまえたちはどこから来たのか。」すると彼らは答えた。「カナンの地から食糧を買いに参りました。」42:8 ヨセフには兄弟たちだと分かったが、彼らにはヨセフだとは分からなかった。42:9 かつて彼らについて見た夢を思い出して、ヨセフは言った。「おまえたちは回し者だ。この国の隙をうかがいに来たのだろう。」42:10 彼らは言った。「いいえ、ご主人様。しもべどもは食糧を買いに参りました。

42:11 私たちはみな、一人の人の子です。私たちは正直者です。しもべどもは回し者などではございません。」42:12 ヨセフは彼らに言った。「いや、おまえたちは、この国の隙をうかがいにやって来たのだ。」42:13 彼らは言った。「しもべどもは十二人兄弟で、カナンの地にいる一人の人の子でございます。末の弟は今、父と一緒にいますが、もう一人はいなくなりました。」42:14 ヨセフは彼らに言った。「私が、おまえたちは回し者だと言ったのは、そのことだ。42:15 次のことで、おまえたちを試そう。ファラオのいのちにかけて言うが、おまえたちの末の弟がここに来ないかぎり、おまえたちは決してここから出ることはできない。

42:16 おまえたちのうちの一人を送って、弟を連れて来い。それまで、おまえたちを監禁する。おまえたちに誠実さがあるかどうか、おまえたちの言ったことを試すためだ。もし誠実でなかったら、ファラオのいのちにかけて言うが、おまえたちは間違いなく回し者だ。」

42:17 こうしてヨセフは三日間、彼らを監獄に入れておいた。

42:18 ヨセフは三日目に彼らに言った。「次のようにして、生き延びよ。私も神を恐れる者だから。42:19 もし、おまえたちが正直者なら、おまえたちの兄弟の一人を監獄に監禁したままにせよ。自分たちは飢えている家族に穀物を持って行くがよい。

42:20 そして、末の弟を私のところに連れて来るがよい。そうすれば、おまえたちのことばが本当だということが分かり、おまえたちが死ぬことはない。」そこで彼らはそのようにした。42:21 彼らは互いに言った。「まったく、われわれは弟のことで罰を受けているのだ。あれが、あわれみを求めたとき、その心の苦しみを見ながら、聞き入れなかった。それで、われわれはこんな苦しみにあっているのだ。」42:22 ルベンが言った。「私はあの子に罪を犯すなと言ったではないか。それなのに、おまえたちは聞き入れなかった。だから今、彼の血の報いを受けているのだ。」42:23 彼らは、ヨセフが聞いていることを知らなかった。ヨセフと兄弟たちの間には通訳がいたからである。

42:24 ヨセフは彼らから離れて、泣いた。それから彼らのところに戻って来て、彼らに語った。そして彼らの中からシメオンを捕らえて、彼らの目の前で彼を縛った。42:25 ヨセフは彼らの袋に穀物を満たし、それぞれの袋に彼らの銀を戻し、さらに道中の食糧を与えるように命じた。それで、人々はそのとおりにした。42:26 彼らは穀物を自分たちのろばに背負わせて、そこを去った。

説教
「人間の罪と神の光り」

全世界の大豊作の7年があつという間に終わり、空前の大飢饉が全世界に押し寄せて来ました。7年続いた大豊作を浪費していた諸国は凶作1年目から食料危機に陥ってしまいました。エジプトには食料があるというニュースは世界に広がりました。

ヤコブはエジプトに穀物があることを知って、息子たちに言った。「おまえたちは、なぜ互いに顔を見合わせているのか。」

父ヤコブとヨセフの兄弟たちの住んでいるカナンの地にも飢饉は押し寄せ、近隣の人々は食料を求めてエジプト詣でをしていました。

ヨセフの兄たちはエジプトに食料があると知っていても、顔を見合わせているだけで行きませんでした。

備蓄の食料がそこをつき始めたこと、
父ヤコブの督促で兄弟たちは重い腰を上げて
エジプトへ出発しました。

兄弟たちがヨセフをエジプトに奴隷として売って、
20年の歳月が流れました。

17才でエジプトに売られたヨセフは30才まで、奴隷と
囚人としてエジプトで過ごし、エジプトの総理大臣と
なって大豊作の7年がすぎてしまいました。

20年の歳月が流れても、弟ヨセフを奴隷としてエジプトに売ってしまった兄たちの記憶も罪意識も消えていません。エジプトと言うことばを聞くと、即座にヨセフはどうしているか、生きているか、野たれ死んでいるか、どこかで恨みに燃えているか。

忘れようにも忘れられない、消えない罪責感。

エジプトということばがこの飢饉の中で頻繁に使われる度に、ヨセフが心に中に亡霊の様に現れて兄たちは煩悶している。

エジプトは行きたくない所、思い出したくもない。かかわりたくない。

飢饉の食料不足、エジプトに行かなければ餓死してしまう。父ヤコブの命令もあって兄たちは重い腰を上げてエジプトに行きました。

父ヤコブは偏愛から抜け出せず、ヨセフの代わりに愛する妻ラケルの産んだベニヤミンを寵愛して、エジプト下りには参加させませんでした。

42:3 そこで、ヨセフの十人の兄弟は、穀物を買うためにエジプトに下って行った。

42:4 しかし、ヤコブはヨセフの弟ベニヤミンを兄弟たちと一緒に送らなかつた。わざわざいが彼に降りかかるといけないと思ったからである。

ヤコブの家族には創造者を信じる信仰はありましたが家族の愛、友情、赦し合いは欠如していました。父の偏愛、偏愛を受けているヨセフ、ベニヤミンへの恨み、殺意。とても愛と赦しのある家族ではありません。ヤコブの家族が神の愛の家族として成熟するために、愛の無い生き方を悔い改めるために、飢饉は彼らをエジプトに向かわせて、過去の罪と向き合っ悔い改めに導き、神の家族として成長させる原動力となりました。

私たちも肉の家族を持っています。

又、教会は神の家族であります。

人間的な好き嫌いを超えた、主にある愛で赦し合い、受け入れあって成熟することを主は望んでおられます。

ヨセフの所にふるさとカナンからも沢山の人が連日食料を求めて来ています。ヨセフの心の中には、ひょっとするといつか兄たちも食料を求めに来るのではないか、そんな思いを持って日々職務にあたっていました。

その思いが現実となる日が来ました。

42:5 こうしてイスラエルの息子たちは、人々に混じって、穀物を買いにやって来た。カナンの地に飢饉が起こったからである。

カナンからも、多の地域からも、世界の各地から大変多くの人々が連日エジプトに食料を求めて集まり、ヨセフの所に来ていました。その中に混じってヨセフの兄弟たちもエジプトの権力者に平身低頭、身をかがめて顔を地につけて伏し拝み食料を求めていました。

42:6 ときに、ヨセフはこの地の権力者であり、この地のすべての人に穀物を売る者であった。ヨセフの兄弟たちはやって来て、顔を地に付けて彼を伏し拝んだ。42:7 ヨセフは兄弟たちを見て、それと分かったが、彼らに対して見知らぬ者のようにふるまい、荒々しいことばで彼らに言った。「おまえたちはどこから来たのか。」すると彼らは答えた。「カナンの地から食糧を買いに参りました。」

ヨセフには直ぐに兄たちとわかりましたが、兄たちにはエジプトの権力者がヨセフとは全くわかりません。ヨセフは直ぐに、昔の夢を思い起こしました。しかし、お兄さん、私はヨセフですと名乗りませんでした。知らないふりをして、荒々しいことばで、おまえたちは間者だ、スパイだ、この国のすきをうかがうために来たのだ、と三度も繰り返して詰問しています。なぜ兄たちを間者だと言って試したのでしょうか。

42:13 彼らは言った。「しもべどもは十二人兄弟で、カナンの地にいる一人の人の子でございます。末の弟は今、父と一緒にいますが、もう一人はいなくなりました。」

ヨセフは兄たちをスパイと疑って身元調査をしています。

12人兄弟で、今、ここに10人が来ています。一人は父の元にいますが、もう一人はなくなりました。この告白をヨセフはどのように聞いていたのでしょうか。もう一人は我々がエジプトに奴隷として売り飛ばしたのです、と正直には言っていません。

42:15 次のことで、おまえたちを試そう。ファラオのいのちにかけて言うが、おまえたちの末の弟がここに来ないかぎり、おまえたちは決してここから出ることはできない。ヨセフは兄たちを試しています。ベニヤミンを連れてきたら、スパイという疑いから解放しよう。

かつてヨセフは兄たちの悪い噂を父に告げていました。兄たちの間にいてスパイをして、父ヤコブに報告をしていました。兄たちはヨセフをスパイ扱いしていました。ヨセフは正直に事実を伝えただけであるかも知れませんが、兄たちはヨセフを憎み、愛が無く、間者扱いをしていた。兄たちはそれへの恨みが原因でヨセフを奴隷に売り飛ばしている。にも関わらず、一人はいなくなった、と人ごとのように言っています。

兄たちは弟ヨセフを愛していなかった。
ヨセフは兄たちに殺されなければならない悪行を行っ
ていない。しかし、嫉まれて穴に落とされ、殺人未遂
の様な扱いをされ、奴隷として売り飛ばしてしまいま
した。

兄たちには弟への愛が無かった。兄はこのことを反省
して悔い改めているのか、悔い改めるのか。
ベニヤミンへの対応でヨセフは兄たちの愛をテストをし
ています。

42:16 おまえたちのうちの一人を送って、弟を連れて来い。それまで、おまえたちを監禁する。おまえたちに誠実さがあるかどうか、おまえたちの言ったことを試すためだ。もし誠実でなかったら、ファラオのいのちにかけて言うが、
おまえたちは間違いなく回し者だ。」

42:17 こうしてヨセフは三日間、彼らを監獄に入れておいた。

10人に兄たちはスパイでもないのにスパイ扱いされて
異国エジプトの刑務所にいられました。ヨセフもかっ
て監獄に無実の罪でいられました。

ヨセフの味わった苦難を兄たちも体験することを通して、
自分の罪と向き合ってほしいとヨセフは願っています。

兄たちの監獄生活は3日間で、

42:19 もし、おまえたちが正直者なら、おまえたちの兄弟の一人を監獄に監禁したままにせよ。自分たちは飢えている家族に穀物を持って行くがよい。

42:20 そして、末の弟を私のところに連れて来るがよい。そうすれば、おまえたちのことばが本当だということが分かり、おまえたちが死ぬことはない。」そこで彼らはそのようにした。

ヨセフは末の弟、ベニヤミンをエジプトにつれてくることに、強くこだわっています。

ヨセフがベニヤミンに会いたいと言う願いだけでは無いようです。

兄たちはヤコブの所から安否伺いに来たヨセフを、穴に落とし、エジプトに売ってしまい、ヤコブの所に連れ帰っていません。

ベニヤミンを連れて来て、兄たちはベニヤミンを如何に扱うか。ヨセフと同じように無責任に扱うか、ヨセフの時を反省して、兄弟のためにいのちを捨てる愛でベニヤミンを守ろうとするのか、これをヨセフは試しています。

ベニヤミンにこだわるエジプトの権力者のことばに
42:21 彼らは互いに言った。「まったく、われわれは弟の
ことで罰を受けているのだ。あれが、あわれみを求めた
とき、その心の苦しみを見ながら、聞き入れなかった。
それで、われわれはこんな苦しみにあっているのだ。」

ヤコブはベニヤミンを寵愛している。このベニヤミンをエジプトにつれてくるには、ヤコブの許可を得るには、ベニヤミンへの最高の愛、何があっても必ず父の元に連れてくる約束をしなければならない。ヨセフにした冷淡な扱いの真逆をしなければならない。

それを考えながら、我々は弟のことで罰を受けているのだ、とこぼしています。

ヨセフは兄たちのこのことばを聞いて、自分を制することが出来ず別室に行ってそこで涙を流しています。

ヨセフはシメオンを縛って人質として監禁し、飢えている家族を救うために穀物を持って帰りなさい。ただし、次回来るときは弟ベニヤミンを連れてこなければスパイの疑いは消えず、処罰の対象となることを覚えておきなさい、と言ってヨセフは彼らを送り出しました。

なぜ、シメオンか。

長男はルベン、本来はルベンが人質になったかも知れない。しかし、弟ベニヤミンを連れてくる、父ヤコブに説得するのは長男のルベンの仕事、それで人質の仕事はシメオンに回ったのか。

それともヨセフをエジプトに売り飛ばす一番の強行派
がシメオンだったのか。

シメオンはシエケムで妹ディナがレイプされた時、
割礼を用いてシエケム虐殺を実行したのがシメオン、
とレビ。暴虐な性格からヨセフに対しても奴隷に売る
非道なことを提案した。

それ故、監禁の苦しさをしっかり味わっていたらこうと、
シメオンを人質として監禁しました。

ヨセフも人としてはややこしいことをしないで兄たちを
赦し、父を呼び寄せかけたと思います。
ここにも人間の感情で生きるのではなく神の主権を
信じて生きているヨセフの姿が見えます。

兄たちが神の前に自分の罪を認め、自分の犯した罪
を良く知って、神と人との前に悔い改めて、
神の赦し、神の愛に生きる家族となることを願っていま
した。

それで時間はかかっても、自分のおかした罪、そのために相手が苦しんだ痛み、それらを良く知って、本当の悔い改めに進むことをヨセフは願っています。

ローマ5:20

律法が入って来たのは、違反が増し加わるためでした。しかし、罪の増し加わるところに、恵みも満ちあふれました。

自分の犯した罪の大きさを知れば知るほど、
赦しの大きさ、恵みの大きさを、心は喜びで満ちあふ
れます。

ヨセフはこの後兄を赦します。

50:20 あなたがたは私に悪を謀りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が生かされるためだったのです。

50:21 ですから、もう恐れることはありません。私は、あなたがたも、あなたがたの子どもたちも養いましょう。」このように、ヨセフは彼らを安心させ、優しく語りかけた。

罪意識、罪責感は時間が経っても消えるものではありません。遠くへ逃げても離れても罪の記憶、罪の恐怖は消えません。

イエス様の十字架あるのみです。

御子イエスの十字架の血潮はすべての罪から私たちをきよめます。(ヨハネ第一1章7節)

祈り。